

都市計画史 書籍リスト

和文で公刊されたものに限る（○は特に重要な参考文献）

A 日本の都市計画史

■A-1 日本の近代都市計画史

- 日本建築学会編『近代日本建築学発達史』、丸善、1972年
- 大河原春雄『建築法規の変遷とその背景：明治から現在まで』、鹿島出版会、1982年
- 石田頼房・池田孝之『「建築線」計画から地区計画への展開』、東京都立大学都市研究センター、1984年
- 石田頼房『日本近代都市計画史研究』、柏書房、1987年
- 石田頼房『日本近代都市計画の百年』、自治体研究社、1987年
- 日本都市計画学会『近代日本都市計画の百年とその未来』、1988年
- 大河原春雄『都市発展に対応する建築法令 改正の理由とその根拠』、東洋書店、1991年
- 『日本の都市再開発史』、全国市街地再開発協会、1991年
- 『近代日本都市計画史年表』、都市計画協会、1991年
- 渡辺俊一『「都市計画」の誕生 国際比較からみた日本近代都市計画』、柏書房、1993年
- 下河辺敦『戦後国土計画への証言』、日本経済評論社、1994年
- 日笠端『コミュニティの空間計画』、共立出版、1997年
- 森村道美『マスタープランと地区環境整備』、学芸出版社、1998年
- 大木圭野『戦後改革と都市改革 発見された「宅地法」案資料集成』、日本評論社、2000年
- 三大都市圏政策形成史編集委員会編『三大都市圏政策形成史』、ぎょうせい、2000年
- 西山康雄『「危機管理」の都市計画—災害復興のトータルデザインをめざして』、彰国社、2000年
- 原田純孝編『日本の都市法Ⅰ 構造と展開』、東京大学出版会、2001年
- 沼尻晃伸『工場立地と都市計画 日本都市形成の特質 1905 - 1954』、東京大学出版会、2002年
- 西山康雄『日本型都市計画とはなにか』、学芸出版社、2002年
- 白石克孝他『現代のまちづくりと地域社会の変革』、学芸出版社、2002年
- 石田頼房『日本近現代都市計画の展開 1868 - 2003』、自治体研究社、2004年
- 石田頼房『展望と計画のための都市農村計画史研究』、南風社、2004年
- 鈴木勇一郎『近代日本の大都市形成』、岩田書院、2004年
- 越沢明『復興計画』、中央公論新社、2005年
- ティラッソー他『戦災復興の日英比較』、知泉書館、2006年
- 川上征雄『国土計画の変遷』、鹿島出版会、2008年
- 浅野純一郎『戦前期の地方都市における近代都市計画の動向と展開』、中央公論美術出版社、2008年
- 中野茂夫『企業城下町の都市計画 野田・倉敷・日立の企業戦略』、筑波大学出版会、2009年
- 中島直人『都市美運動 シヴィックアートの都市計画史』、東京大学出版会、2009年※
- 木方十根『「大学町」出現：近代都市計画の錬金術』、河出書房新社、2010年
- 初田香成『都市の戦後 雑踏のなかの都市計画と建築』、東京大学出版会、2011年
- 日本都市計画学会『60 プロジェクトによむ日本の都市づくり』、朝倉書店、2011年※
- 『近代都市計画制度 90 年記念論集』、都市計画協会、2011年
- 越沢明『大災害と復旧・復興計画』、岩波書店、2012年
- 井上亮『焦土からの再生 戦災復興はいかに成し得たか』、新潮社、2012年
- 鈴木勇一郎他『近代都市の装置と統治』、日本経済評論社、2013年
- 今村洋一『旧軍用地と戦後復興』、中央公論美術出版社、2017年

中川理編『近代日本の空間編成史』、思文閣出版、2017年

- 中島直人『都市計画の思想と場所 日本近現代都市計画史ノート』、東京大学出版会、2018年
- 都市史学会編『日本都市史・建築史事典』、丸善、2018年
- 都市計画法・建築基準法制定100周年記念事業実行委員会『都市計画法制定100周年記念論集』、都市計画協会、2019年

■A-2 東京の都市計画史

堀内亨一『都市計画と用途地域制：東京におけるその沿革と展望』、西田書店、1978年

- 藤森照信『明治の東京計画』、岩波書店、1982年 同時代ライブラリー：1992年 岩波現代文庫（学術）：2004年
- 陣内秀信『東京の空間人類学』、筑摩書房、1985年 文庫：1992年
- 藤森照信他『東京のまちづくり：近代都市はどうつくられたか』、彰国社、1986年
- 山口廣編『郊外住宅地の系譜：東京の田園ユートピア』、鹿島出版会、1987年
- 長谷川徳之輔『東京の宅地形成史』、住まいの図書、1988年
- 『東京 成長と計画 1868-1988』、東京都立大都市研究センター、1988年
- 猪瀬直樹『土地の神話』、小学館、1988年
- 佐藤滋『集合住宅団地の変遷 東京の公共住宅とまちづくり』鹿島出版会、1989年
- 佐藤滋他『現代に生きるまち 東京のまちの過去・未来を読み取る』、1990年
- 福岡峻治『東京の復興計画 都市再開発行政の構造』、日本評論社、1991年
- 石塚裕道『日本近代都市論 東京：1868-1923』、東京大学出版会、1991年
- 大河原春雄『物語 東京の都市計画と建築行政』、鹿島出版会、1992年
- 田村明『江戸東京まちづくり物語』時事通信社、1992年
- 中邨章『東京市政と都市計画』敬文堂、1992年
- 石田頼房『未完の東京計画 実現しなかった計画の計画史』、筑摩書房、1993年
- 東郷尚武編『都市を創る（シリーズ 東京を考える）』、都市出版、1995年
- 越沢明『東京都市計画物語』、日本経済評論社、1991 ちくま学芸文庫：2001年
- 越沢明『東京の都市計画』、岩波書店、1991年
- 寺西弘文『東京都市計画史論：明治・大正・昭和・平成』、政治都市計画研究会、1995年
- 原田勝正他『東京・関東大震災前後』、日本経済評論社、1997年
- 末松四郎『東京の公園通誌 上 改訂版』、東京都公園協会、1995年
- 末松四郎『東京の公園通誌 下 改訂版』、東京都公園協会、1995年
- 『多摩都市計画史』、東京市町村自治調査会、1999年
- 樋口忠彦『郊外の風景—江戸から東京へ』、教育出版、2000年
- 河村茂『日本の首都江戸・東京：都市づくり物語』、都政新報社、2001年
- 大西比呂志『「大東京」空間の政治史』、日本経済評論社、2002年
- 初田亨『繁華街の近代：都市・東京の消費空間』、東京大学出版会、2004年
- 田中正大『東京の公園と原地形』、けやき出版、2005年
- 田中傑『帝都復興と生活空間 関東大震災後の市街地形成の論理』、東京大学出版会、2006年
- 高見澤邦郎『井荻町土地区画整理の研究—戦前期東京郊外の形成事例として—』、南風舎、2006年
- 真田純子『都市の緑はどうあるべきか：東京緑地計画の考察から』、技報堂出版、2007年
- 源川真希『東京市政 首都の近現代史』、日本経済評論社、2007年
- 土居利光『東京都における公園緑地計画の系譜 1』、東京都公園協会、2009年
- 土居利光『東京都における公園緑地計画の系譜 2』、東京都公園協会、2009年
- 高寄昇三『大正地方財政史（下巻）政党化と地域経営・都市計画と震災復興』、公人の友社、2009年
- 笠原知子『技師たちがみた江戸・東京の風景』、学芸出版社、2010年
- 片木篤『オリンピック・シティ東京：1940・1964』、河出書房新社、2010年
- 松橋達矢『モダン東京の歴史社会学 「丸の内」をめぐる想像力と社会空間の変容』、ミネルヴァ書房、2012年

高橋修一『都市近郊の耕地整理と地域社会』、日本経済評論社、2013年

○越沢明『東京都市計画の遺産』、ちくま書房、2014年

松山恵『江戸・東京の都市史 近代移行期の都市・建築・社会』、東京大学出版会、2014年

○石樽督和『戦後東京と闇市 新宿・池袋・渋谷の形成過程と都市組織』、鹿島出版会、2016年

渡邊大志『東京臨海論 港から見た都市構造史』、東京大学出版会、2017年

中村元『近現代日本の都市形成と「デモクラシー」——20世紀前期/八王子市から考える』、吉田書店、2018年

■A-3 地方都市（※東京以外）の都市計画史（公刊され入手しやすいものに限る。行政刊行物は除く。）

田村明『都市ヨコハマをつくる：実践的まちづくり手法』、中央公論社、1983年

本多義明他『福井まちづくりの歴史』、財団法人地域環境研究所、1995年

広原盛明『開発主義神戸の思想と経営—都市計画とテクノクラシー』、日本経済評論社、2001年

高橋康夫他『京・まちづくり史』、昭和堂、2003年

奈良県都市計画協会監修『奈良県の都市計画：近代都市計画と都市計画区域マスタープラン』、清文社、2004年

伊藤之雄編『近代京都の改造』、ミネルヴァ書房、2006年

日本都市計画学会中部支部『幻の都市計画 残しておきたい構想案』、樹林舎、2006年

白井芳樹『都市 富山の礎を築く—河川・橋梁・都市計画にかけた土木技術者の足跡』、技報堂出版、2009年

橋爪紳也『「水都」大阪物語（再生への歴史文化的考察）』、藤原書店、2009年

岩田俊二『津市 地方都市の建設史』、農林統計出版、2010年

高木博志『近代日本の歴史都市 古都と城下町』、思文閣出版、2013年

川口朋子『建物疎開と都市防空：「非戦災都市」京都の戦中・戦後』、京都大学学術出版会、2014年

中川理『京都と近代 せめぎ合う都市空間の歴史』、鹿島出版会、2015年

三井康尋『筑波研究学園都市論』、鹿島出版会、2015年

沼尻晃伸『村落から見た市街地形成 人と土地・水の関係史 尼崎 1925-73年』、日本経済評論社、2015年

高寄昇三『神戸・近代都市の形成』、公人の友社、2017年

広原盛明他『神戸百年の大計と未来』、晃洋書房、2017年

伊藤之雄『「大京都」の誕生:都市改造と公共性の時代 1895~1931年』、ミネルヴァ書房、2018年

西村幸夫『県都物語』、有斐閣、2018年

村上しほり『神戸 闇市からの復興:占領下にせめぎあう都市空間』、慶應義塾大学出版会、2018年

■A-4 日本の外地（植民地）都市計画

越沢明『植民地満州の都市計画』、アジア経済研究所、1978年

○越沢明『満州国の首都計画：東京の現在と未来を問う』、日本経済評論社、1988年 ちくま学芸文庫、2002年

越沢明『哈爾濱の都市計画』、総和社、1989年

越沢明他『岩波講座 近代日本と植民地 植民地化と産業化』、岩波書店、1993年

孫禎睦『日本統治下朝鮮都市計画史研究』、柏書房、2004年

橋谷弘『帝国日本と植民地都市』、山川弘文館、2004年

田中重光『近代・中国の都市と建築』、相模書房、2005年

青井哲人『植民地神社と帝国日本』、吉川弘文館、2005年

青井哲人『彰化一九〇六年 市区改正が都市を動かす』アセテート、2006年

西澤康彦『図説「満洲」都市物語 増補改訂版』、河出書房新社、2006年

大里浩秋他『中国における日本租界—重慶・漢口・杭州・上海』、御茶の水書房、2006年

欒玉璽『青島の都市形成史:1897-1945—市場経済の形成と展開』、思文閣出版、2009年

砂本彦彦『図説 ソウルの歴史-----漢城・京城・ソウル 都市と建築の六〇〇年』、河出書房新社、2009年

布野修司他『韓国近代都市景観の形成：日本人移住漁村と鉄道町』、京都大学出版会、2010年

■A-5 日本の都市計画家

- 西山卯三『生活空間の探究（上） 建築学入門』、勁草書房、1983年
西山卯三『生活空間の探究（下） 戦争と住宅』、勁草書房、1983年
『都市計画パイオニアの歩み』、都市計画協会、1986年
- 高山英華『私の都市工学』、東京大学出版会、1987年
芝村篤樹『関一 都市思想のパイオニア』、松・社、1989年
『佐藤昌と近代公園緑地の歩み』、日本公園緑地協会、1991年
東京人編集部編『江戸・東京を造った人々 -都市のプランナーたち』、都市出版、1993年
橋爪紳也『にぎわいを創る近代日本の空間プランナーたち』、長谷工総合研究所、1995年
『都市の領域 高山英華の仕事』、建築家会館、1997年
西山卯三『都市と住まい 西山卯三建築運動の軌跡』、東方出版、1997年
国土政策機構編『国土を創った土木技術者たち』、鹿島出版会、2000年
石田頼房『森鷗外の都市論とその時代』、日本経済評論社、1999年
本間義人『都市改革の思想 都市論の系譜』、日本経済評論社、2002年
藤井肇男『土木人物事典』、アテネ書房、2004年
- 新谷洋二他『都市をつくった巨匠たち シティプランナーの横顔』、ぎょうせい、2004年
越澤明他編『まちづくり行政を語る』、都市計画協会、2005年
加藤政祥他『都市空間の地理学』、ミネルヴァ書房、2006年
田村明『都市プランナー 田村明の闘い』、学芸出版社、2006年
ジェフリー・E・ヘインズ『主体としての都市 関一と近代大阪の再構築』、勁草書房、2007年
住田昌二編『西山卯三の住宅・都市論 その現代的検証』、日本経済評論社、2007年
- 中島直人他『都市計画家石川栄耀 都市探求の軌跡』、鹿島出版会、2009年※
高崎哲郎『評伝 石川栄耀』、鹿島出版会、2010年
東秀紀『東京の都市計画家 高山英華』、鹿島出版会、2010年
後藤新平歿八十周年記念事業実行委員会編『都市デザイン シリーズ後藤新平とは何か 自治・公共・共生・平和』、藤原書店、2010年
越沢明『後藤新平：大震災と帝都復興』、筑摩書房、2011年
豊川斎赫『群像としての丹下研究室』、オーム社、2012年
堀田典裕『山林都市：黒谷了太郎の思想とその展開』、彰国社、2012年
蓑原敬・松隈洋・中島直人『建築家 大高正人の仕事』、エクスマレッジ、2014年
笹原克『浅田孝 つくらない建築家、日本初の都市プランナー』、オーム社、2014年
服部圭郎『ブラジルの環境都市を創った日本人 中村ひとし物語』、未来社、2014年
鈴木伸治『今、田村明を読む 田村明著作選集』、春風社、2016年
伊藤滋『旅する街づくり 若き都市計画家の欧米見聞録』、万来舎、2017年
鈴木崇英『美と自由の都市デザイン』、朝日新聞出版、2018年

B 海外の都市計画史

■B-1 欧米の近代都市計画史

- 佐藤昌『欧米公園緑地発達史』都市計画研究所、1968年
L・ヴェネヴォロ『近代都市計画の起源』、1976年
- 渡辺俊一『アメリカ都市計画とコミュニティ理念』、技報堂出版、1977年
ジョナサン・バーネット『アーバン・デザインの手法』、鹿島出版会、1977年
ゴードン・E・チェリー『英国都市計画の先駆者たち』、学芸出版社、1983年
アルバート・ファイン『アメリカの都市と自然』、井上書院、1983年

- ウィーベンソン, D. 『工業都市の誕生』、井上書院、1983年
フランソワーズ・ショエ 『近代都市 19世紀のプランニング』、井上書院、1983年
ハワード・サールマン 『パリ大改造 オースマンの業績』、井上書院、1983年 改訂版2011年
W・アシュワース 『イギリス田園都市の社会史』、御茶の水書房、1987年
P・パヌレ他 『住環境の都市形態』、1993年
- 渡辺俊一 『比較都市計画序説 イギリス、アメリカの土地利用規制』、三省堂、1985年
ロバート・フィッシュマン 『ブルジョワ・ユートピア：郊外住宅地の盛衰』、勁草書房、1990年
D. J. オールセン 『芸術作品としての都市』、芸立出版、1992年
西山康雄 『アンウィンの住宅地計画を読む』、彰国社、1992年
松井道昭 『フランス第二帝政下のパリ都市改造』、日本経済評論社、1997年
アラン・B・ジェイコブス 『サンフランシスコ都市計画局長の闘い ― 都市デザインと住民参加』 学芸出版社、1998年
戸谷英世 『アメリカの住宅地開発 ガーデンシティからサスティナブル・コミュニティへ』 学芸出版社、1999年
- 石川幹子 『都市と緑地―新しい都市環境の創造に向けて』 岩波書店、2001年
東秀紀他 『「明日の田園都市」への誘い：ハワードの構想に発したその歴史と未来』、彰国社、2001年
西山八重子 『イギリス田園都市の社会学』、ミネルヴァ書房、2002年
P.ラヴダン 『パリ都市計画の歴史』 土居義岳訳、中央公論美術出版、2002年
大場茂明 『近代ドイツの市街地形成―公的介入の生成と展開』、ミネルヴァ書房、2003年
菊池威 『田園都市を解く：レッチワースの行財政に学ぶ』、技報堂、2004年
山名淳 『夢幻のドイツ田園都市』、2006年
杉尾邦江 『景観都市の創出：英国植民地オーストラリア、ニュージーランドの公園緑地帯の成立史』、ピオシティ、2007年
永松栄 『都市と建築の近代 プレ・モダニズムの都市改造』、学芸出版社、2008年
日端康雄 『都市計画の世界史』、講談社、2008年
ジョン・A. ピーターソン 『アメリカ都市計画の誕生』、鹿島出版会、2011年
アンソニー フリント 『ジェイコブズ対モーゼス：ニューヨーク都市計画をめぐる闘い』、鹿島出版会、2011年
馬場哲 『ドイツ都市計画の社会経済史』、東京大学出版会、2016年
渡辺泰彦 『評伝ロバート・モーゼス：世界都市ニューヨークの創造主』、鹿島出版会、2018年

■B-2 欧米諸国による植民都市計画史

- 飯塚キヨ 『植民都市の空間形成』 大明堂、1985年
ロバート・ホーム 『植えつけられた都市 英国植民都市の形成』、京都大学出版会、2001年
布野修司編著 『近代世界システムと植民都市』、京都大学出版会、2005年
布野修司他 『グリッド都市 スペイン植民都市の起源、形成、変容、転生』、京都大学出版会、2013年

■B-3 その他の国・都市の都市計画史

- 泉田英雄 『海域アジアの華人街(チャイナタウン)―移民と植民による都市形成』、学芸出版社、2006年
松原康介 『モロッコの歴史都市フェスの保全と近代化』、学芸出版社、2008年
王軍 『北京再造 古都の命運と建築家梁思成』、葉広舎、2008年
朴賛弼 『ソウル清溪川 再生―歴史と環境都市への挑戦』、鹿島出版会、2011年
佐藤洋一 『帝政期のウラジオストク：市街地形成の歴史的研究』、早稲田大学出版部、2011年
新井健一郎 『首都をつくる ジャカルタ創造の50年』、東海大学出版会、2012年
中岡義介他 『首都ブラジリア：モデルニズモ都市の誕生』、鹿島出版会、2014年

C 各分野史

■C-1 住宅地の計画史

- 片寄俊秀『実験都市 千里ニュータウンはいかに造られたか』、社会思想社、1981年
中川理『重税都市：もうひとつの郊外住宅史』、住まいの図書館出版局、1990年
マルク・ブルディエ『同潤会アパート原景：日本建築史における役割』、住まいの図書館出版局、1992年、
安田孝『郊外住宅の形成：大阪-田園都市の夢と現実』、INAX出版、1992年
佐藤滋他『同潤会のアパートメントとその時代』、鹿島出版会、1998年
- 片木篤他『近代日本の郊外住宅地』鹿島出版会、2000年
角野幸博『郊外の20世紀 テーマを追い求めた住宅地』、学芸出版社、2000年
西山卯三記念すまい・まちづくり文庫編『幻の住宅営団』日本経済評論社、2001年
内田青蔵『同潤会に学ぶ：住まいの思想とそのデザイン』、王国社、2004年
大月敏雄『集合住宅の時間』、王国社、2006年
社宅街研究会『社宅街 企業が育んだ住宅地』、学芸出版社、2009年
細野助博他『オール・ヒストリー 多摩ニュータウン』、中央大学出版会、2010年
上川勇治『街並みの形成 民間住宅地開発の変遷』、住宅新報社、2013年
大海一雄『神戸の住宅地物語』、神戸新聞総合出版センター、2013年
木下庸子他編『いえ 団地 まち—公団住宅 設計計画史』、ラトルズ、2014年
中野隆生編『二十世紀の都市と住宅 ヨーロッパと日本』、山川出版、2015年
片木篤編『私鉄郊外の誕生』、柏書房、2017年
岡村八寿子『祖父野澤源次郎の軽井沢別荘地開発史 源次郎と三人の男たち』、牧歌舎、2018年

■C-2 公園・風景地・リゾートの計画史

- 田中正大『日本の公園』、鹿島研究所出版会、1974年
- 佐藤昌『日本公園緑地発達史 上・下』都市計画研究所、1977年
田中正大『日本の自然公園 自然保護と風景保護』相模書房、1981年
橋爪紳也『海遊都市 アーバンリゾートの近代』、白地社、1992年
丸山宏『近代日本公園史の研究』、思文閣出版、1994年
安島博幸他『日本別荘史ノート リゾートの原型』、住まいの図書館出版局、1991年
白旗洋三郎『近代都市公園史の研究：欧化の系譜』、思文閣、1995年
小野良平『公園の誕生』吉川弘文館、2003年
申龍徹『都市公園政策形成史：協働型社会における緑とオープンスペースの原点』、法政大学出版局、2004年
加藤哲弘他『東山／京都風景論』、昭和堂、2006年
村串仁三郎『国立公園成立史の研究』法政大学出版局、2005年
手嶋潤一『日光の風景地計画とその変遷』、随想社、2006年
砂本文彦『近代日本の国際リゾート—一九三〇年代の国際観光ホテルを中心に』、青弓社、2008年
進士五十八『日比谷公園 一〇〇年の矜持に学ぶ』、鹿島出版会、2011年
田路貴浩他『日本風景史 ヴィジョンをめぐる技法』、昭和堂、2015年
小野良平『東京の公園の歴史を歩く』、東京都公園協会、2016年

■C-3 建築論史・都市論史・都市計画論史

- 布野修司『戦後建築論ノート』、相模書房、1981年
八束はじめ他『メタボリズム 1960年代の日本の建築アヴァンギャルド』、INAX出版、1997年
布野修司『都市と劇場：都市計画という幻想』、彰国社、1998年
- 鈴木博之『日本の近代10 都市へ』、中央公論新社、1999年 中公文庫：2007年
秋元馨『現代建築のコンテクスチュアリズム入門』、彰国社、2002年
本多昭一『近代日本建築運動史』、ドメス出版、2002年
川添登他『メタボリズムとメタボリストたち』、美術出版社、2005年

- 鈴木博之他編『シリーズ都市・建築・歴史 全10巻』、東京大学出版会、2005年～2006年
(特に7巻「近代とは何か」、8巻「近代化の普及」、9巻「材料・生産の近代」、10巻「都市・建築の現在」)
- 高見沢実編『都市計画の理論 系譜と課題』学芸出版社、2006年
- 八束はじめ『メタボリズム・ネクサス』、オーム社、2011年
- 今村創平『現代都市理論講義』、オーム社、2013年
- 蓑原敬他『白熱講義 これからの日本に都市計画は必要ですか』、学芸出版社、2014年

■C-4 都市デザイン・都市保全計画史

- 渡辺定夫他『新建築学体系17 都市設計』、彰国社、1983年
- アーバンデザイン研究体『アーバンデザイン 軌跡と実践手法』、彰国社、1985年
- 渡辺定夫他『アーバンデザインの現代的展望』、鹿島出版会、1993年
- 佐藤滋『城下町の近代都市づくり』、鹿島出版会、1995年
- 相田武文他『都市デザインの系譜』、1996年
- 西村幸夫『環境保全と景観創造 これからの都市風景に向けて』、鹿島出版会、1997年
- ジョナサン・バーネット『都市デザイン 野望と誤算』、2000年
- 窪田亜矢『限界が活きるニューヨークのまちづくり 歴史・生活環境の動的保全』、学芸出版社、2002年
- 西村幸夫『都市保全計画 歴史・文化・自然を活かしたまちづくり』、東京大学出版会、2004年
- 鳥海基樹『オーダー・メイドの街づくり パリの保全的刷新型「限界プラン」』、学芸出版社、2004年
- 西村幸夫『都市美 都市景観施策の源流とその展開』、学芸出版社、2005年
- アンソニー・M. タン『歴史都市の破壊と保全・再生—世界のメトロポリスに見る景観保全のまちづくり』海路書院、2006年
- 西村幸夫・埜正浩『証言・町並み保存』学芸出版社、2007年
- 大橋竜太『英国の建築保存と都市再生 歴史を活かしたまちづくりの歩み』、鹿島出版会、2007年
- 酒井憲一『都市美協会運動と椽内吉胤』、東京農業大学出版会、2008年
- 阿部大輔『バルセロナ旧市街の再生戦略』、学芸出版社、2009年
- 西村幸夫・埜正浩『証言・まちづくり』、学芸出版社、2011年
- 江口久美『パリの歴史的建造物保全』、中央公論美術出版社、2015年
- 佐藤滋+城下町都市研究体『図説城下町都市 -- 新版』、鹿島出版会、2015年
- 東京大学都市デザイン研究室『都市空間の構想力』、学芸出版社、2015年
- 堀田典裕『<モータウン>のデザイン』、名古屋大学出版会、2018年
- 黒石いずみ・小林敬一・中島伸・宮下貴裕『時間の中のまちづくり 歴史的な環境の意味を問いなおす』、鹿島出版会、2019年

■C-5 土地・経済・財政・社会史

- 山田良治『戦後日本の地価形成：理論と分析』、ミネルヴァ書房、1991年
- 持田信樹『都市財政の研究』、東京大学出版会、1993年
- 『日本の土地百年』、大成出版社、2003年
- 新藤宗幸他編『雑誌『都市問題』にみる都市問題1(1925-1945)』、岩波書店、2010年
- 田崎宣義編『近代日本の都市と農村：激動の一九一〇-五〇年代』、青弓社、2012年
- 新藤宗幸他編『雑誌『都市問題』にみる都市問題2(1950-1989)』、岩波書店、2012年
- 橋本健二・初田香成『盛り場はヤミ市から生まれた』、青弓社、2013年
- 山口由等『近代日本の都市化と経済の歴史』、東京経済情報出版、2014年
- 橋本健二・初田香成『盛り場はヤミ市から生まれた 増補版』、青弓社、2016年
- 「危機の都市史」研究会『危機の都市史：災害・人口減少と都市・建築』、吉川弘文館、2019年

D 雑誌・解説

■ D-1 学会誌（『都市計画』）

- ・『都市計画』56、「学会法人化記念特集」、1968年
- ・『都市計画』100、「100号特集」、1978年
- ・『都市計画』120、「30周年記念特集」、1982年
- ・『都市計画』172、『日本都市計画学会創立40周年記念号』、1991年
- ・『都市計画』233、『日本都市計画学会五十年史』、2001年
- ・『都市計画』338、『都市計画法50年・100年記念特集号』、2019年

■ D-2 復刻解説

- ・石田頼房・西山康雄『雑誌『区画整理』解題』、柏書房、1990年
- ・山形政昭『『建築と社会』解説・総目次・索引』、不二出版、1996年
- ・越沢明『『新都市』解説・総目次・索引』、不二出版、1997年
- ・掘田典裕『『都市創作』解説・総目次・索引』、不二出版、2005年
- ・橋爪紳也・中島直人『『都市美』監修の辞・解題・総目次・索引』、不二出版、2007年
- ・初田香成・中島直人他『『東京地籍図』解説』、不二出版、2010年
- ・初田香成『『都市不燃化』解題・総目次・索引』、不二出版、2014年